

IV 中等教育学校 ・ 高等学校 ・
特別支援学校 指導の重点

1

中等教育学校 指導の重点

目標

・「知性を高め 感性をはぐくみ 意志を鍛える」という教育方針の下、質の高い教育を展開し、人間的成長と高い学力の両立を目指した6年間の一貫教育を行う。さらにその成果を市立の中学校・高等学校と共有することにより、仙台市の中等教育全体の活性化を図る。

仙台青陵中等教育学校の取組

教育課程の編成・実施	学習指導の充実	進路指導の充実
<ul style="list-style-type: none"> ・6年間の一貫した教育を生かした特色ある教育課程の編成・実施に努める。 ・授業時数を確保（45分×7コマ）し、教育内容の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学ぶ楽しさや深さを実感できる授業を展開し、学ぶことの意味や学び続けることの意義を感じさせる。 ・授業研究等、授業の質を高める取組を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発達の段階に応じた講演会やゼミ等を実施し、一人ひとりの夢や希望の実現に向けた支援を行う。 ・個に応じたきめ細かな指導で進路希望達成100%を目指す。

【令和8年度に求められる取組】

特色ある学びの時間

「ことばと論理」「オールイングリッシュタイム」「数楽タイム」

特色ある取組

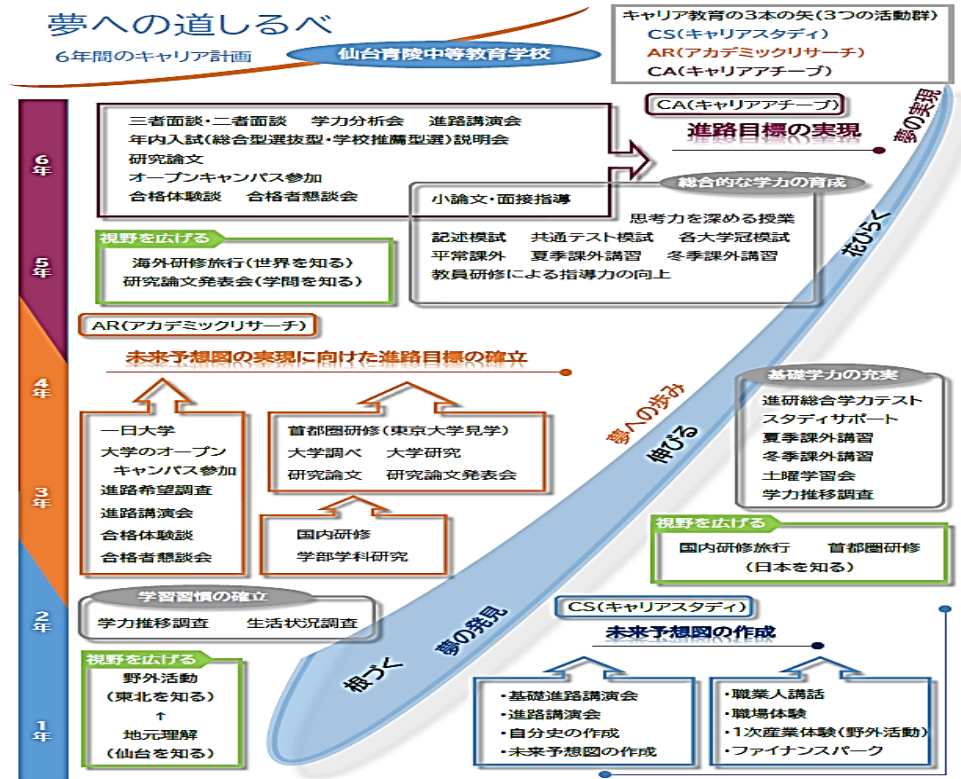
理科特別講座・理科講演会、大学関係者等を活用した土曜学習会
読書活動への積極的な取組「朝読書、青陵の100冊」

体験活動

- 5年次： 海外研修旅行（オーストラリア）
- 4年次： 研究所・大学（首都圏）訪問
- 3年次： 国内研修旅行（関西方面）
- 2年次： 野外活動
- 1年次： オリエンテーション合宿

仙台青陵中等教育学校 HP 参照

<関連資料等> ・[仙台青陵中等教育学校 HP](#)



問合せ先【高校教育課 022-214-8422】

2

高等学校 指導の重点

目 標

- ・学習指導要領に基づき、各校の教育目標及び生徒や学校、地域の実態に即した適切な教育課程の編成に努める。
- ・社会人として必要な資質・能力を備え、現代社会の様々な変化に的確に対応できる生徒の育成を目指し、特色ある教育活動を展開する。
- ・高校生として必要な基礎学力の定着を図り、豊かな人間性や社会性を育むとともに、一人ひとりの進路希望の実現を図るため、創意工夫を凝らした教育活動を実践し、魅力ある高校づくりを推進する。

高等学校の取組

教育課程の編成・実施	学習指導の充実	進路指導の充実
・教育目標及び生徒の実態に即した適切な教育課程の編成と運用に努め、時代のニーズに応える魅力と特色ある学校づくりを推進する。	・「自ら学ぶ」意欲と態度の育成を図り、学び続けることの意義を感得させる。 ・授業時数の確保と教師の授業力向上の取組を行う。	・生徒一人ひとりにきめ細かな進路指導を行い、希望と適性に応じた適切な進路目標を設定させる。 ・進路希望の達成に向けた指導を行う。

【令和8年度に求められる取組】

仙台高等学校

- 大学と連携した公開研究授業・進路ガイダンス・指導力スキルアップ研修会の充実
- 海外の高校との交流推進
- 「フェニックスプラン」によるキャリア教育の充実

仙台工業高等学校

- 地域や産業界との連携による「デュアルシステム・地域のものづくり人材育成推進事業」の充実
- デジタル技術教育・先端技術教育の強化
- 工業教育の基礎・基本の充実と専門性を生かした進路指導の推進

仙台商業高等学校

- 企業や専門学校と連携したビジネス教育とコミュニケーション能力の育成
- 地域と連携した実践的なビジネス創造活動と資格取得の奨励
- 商業教育の基礎・基本の充実と専門性を生かした進路指導の推進

仙台大志高等学校

- 多様な入学動機に応じた教育課程の提供
- 個別最適な学習支援の強化
- 総合的な探究の時間で行う「チャレンジタイム」を通じたキャリア教育の充実と将来を見据えた進路指導の実施

<関連資料等>

- ・ [仙台高等学校HP](#)
- ・ [仙台工業高等学校HP](#)
- ・ [仙台商業高等学校HP](#)
- ・ [仙台大志高等学校HP](#)

問合せ先【高校教育課 022-214-8422】

特別支援学校 指導の重点

・「仙台市特別支援教育推進プラン 2023」に基づき、こども一人ひとりを大切にした教育の実施と、「共生社会」の実現に向けたインクルーシブ教育システムの構築を両輪として、本市が目指す特別支援教育の実現に向け施策を推進する。

鶴谷特別支援学校の取組

教育課程の編成・実施	校内研究の充実	センター的機能の充実	交流の充実
<p>・一人ひとりの「自立と社会参加」に向けて、卒業後の社会参加や生活を見据えた教育活動を展開し、小中高の系統性のある教育課程の充実を図る。</p> <p>・「仙台自分づくり教育」を柱とするカリキュラム・マネジメントを行い、一貫性のある学びの定着を図る。</p>	<p>・児童生徒が豊かな生活を送るための将来を見据えた指導の在り方を探るため、個別の教育的ニーズに応じた授業づくりを行うことで、教員の専門性を高めている。</p>	<p>・仙台市立学校において特別支援教育を担う教員のニーズに応えるため、研修会の実施や学校への職員の派遣、最新情報の発信など、センター的機能を果たす。</p>	<p>・交流及び共同学習、居住地校交流、地域交流などを充実させ、インクルーシブ教育システムの理念を実現するために本校児童生徒と交流相手にとってより意義のある学習活動へ発展させていく。</p>

【令和8年度に求められる取組】

(1) 一人ひとりの教育的ニーズに応え、生涯を通して自分の力を生かして力強く生き抜く児童生徒を育てる学校

児童生徒それぞれの教育的ニーズに沿った個別の指導計画・移行支援計画・自立活動支援計画を策定し、保護者や関係機関とともに、卒業後の生活を見据えてこれからの時代をたくましく生き抜く力を育てる。

(3) 特別支援教育を担うエキスパートとなる教職員を育成する学校

本校・行政機関・市立学校、他の支援学校を循環して異動することで、教職員としてのキャリアを重ねるとともに、研修等を通して特別支援学校の専門性を高めることで、特別支援教育全般や本市の施策について広い知識や深い識見を身に付け、将来の本市の特別支援教育を担う力量を有する教員の育成を図る。

(2) 仙台市立学校の特別支援教育をリードする学校

仙台市唯一の特別支援学校として、中度及び重度の知的障害、重度重複障害、医療的ケアを有する児童生徒の指導方法の確立を図るとともに、高等部段階では軽度の知的障害の生徒も受け入れ、卒業後を見据えた望ましい支援の在り方を研究及び実践する。得られた知見を仙台市立小・中・高等学校に広く周知し、各学校における特別支援教育の発展に資する。

(4) 特別支援教育のセンター的役割を果たし、専門性を活かして市立学校への支援を行う学校

支援部を中心としたPT・OT・STの派遣、教育相談、教材の展示、研究部を中心とした先進的な校内研究の実施と公開、交流啓発部を中心とした交流活動の実施など、各部の活動を通して仙台市立学校へ必要な支援を行う。